



**MUSASHINO**  
B A N K

**2005.9 ミニディスクロージャー誌  
営業の中間ご報告 Vol.20**

**武蔵野銀行**

# プロフィール

## 武蔵野銀行



名称	株式会社 武蔵野銀行 The Musashino Bank, Ltd.	
本店所在地	さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8	
ホームページ	http://www.musashinobank.co.jp	
設立	昭和27年3月6日	
ネットワーク	営業店舗数	91か店 (県内89、県外2)
	住宅ローンセンター数	9か所
	店舗外ATM数	108か所
	ATM・CD設置台数	452台
従業員数	1,940名	
総資産	30,613億円	
預金残高	28,425億円	
貸出金残高	21,665億円	
資本金	366億円	
発行済株式数	31,755,456株	
自己資本比率	9.28% (17年9月30日現在)	



写真は、JR大宮駅コンコース中央広場に掲揚したシンボルマークの巨大フラッグです。掲揚期間は、17年11月12日から12月9日まで。

## 武蔵野銀行グループ

武蔵野銀行グループは、当行、グループ会社8社（連結子会社）で構成し、銀行業務を中心に銀行事務の代行業務、リース業務などの金融サービスに係る事業を行っています。

- ぶぎんビジネスサービス株式会社…………… 銀行事務代行業務
- ぶぎんビルメンテナンス株式会社…………… 不動産管理業務、行員向け福利厚生業務
- ぶぎん総合リース株式会社…………… 総合リース、ファクタリング、営業資金の貸付業務
- ぶぎん保証株式会社…………… 個人向け融資に係る信用保証業務
- むさしのカード株式会社…………… クレジットカード（JCB、VISA）、金銭の貸付、信用保証業務
- ぶぎんシステムサービス株式会社…………… コンピュータシステムの開発、販売、保守管理業務
- 株式会社ぶぎん地域経済研究所…………… 県内経済、産業の調査研究、経営・税務等の相談  
各種セミナーの開催
- 株式会社ぶぎんキャピタル……………ベンチャー企業への投資、経営相談

## 目次 CONTENTS

プロフィール……………1	中期経営計画「JUMP UP 21」の概要……………9
ごあいさつ……………2	当行からのお知らせ コンプライアンスへの取り組み、個人情報保護法への対応等……………10
業績ハイライト	県民の皆さまとともに
収益体系図……………3	地域貢献に関する考え方、埼玉県の特性……………11
資金運用、資金調達、損益等……………4	県民の皆さまへの貸出金……………12～14
単体決算の概要……………5	地域経済活性化のために……………15～16
連結決算の概要……………6	便利にご利用いただくために……………17～20
当行の健全性に関する指標	社会貢献活動……………21
自己資本比率、不良債権比率、格付け等……………7	株式情報……………22
金融再生法に基づく開示債権等……………8	

\*本誌に掲載の計数は、単位未満を切り捨ての上表示しています。

## ごあいさつ

当行は、このたび、平成17年度9月期における営業の概況などを皆さまにお知らせするため、小冊子を作成しました。私どもに対するご理解の一助となれば幸いに存じます。

この期は、お客さまへの利便性向上を図るため、新たに東川口支店、川口住宅ローンセンターの新設、狭山支店の移転・新築など営業チャネルの充実を行ったほか、お客さまの多様な資金運用ニーズに的確にお応えするためエリアFPや資産運用アドバイザーの拡充など体制面の強化に努めました。また、地元企業の皆さまへの資金供給をより一層円滑に進めるため、事業金融ブロックや医療・福祉ブロックを新設するとともに、本部・営業店が連携して経営支援及び事業再生支援活動を積極的に展開するなど、地域に密着した経営を実践してまいりました。

その結果、主な9月期の業績は、

- ①貸出金の期末残高は2兆1,665億円となり、前年比年率7.9%、1,578億円増加しました。
- ②預金の期末残高は2兆8,425億円となり、前年比年率3.0%、828億円増加しました。
- ③不良債権比率は3.52%となり、前年比0.73%低下し、資産の健全性が一段と向上しました。
- ④損益では、本業の収益力を示すコア業務純益が108億円、中間純利益が57億円となり、何れも上期の最高益を更新することができました。

引き続き埼玉県の地元銀行として、自主独立路線を堅持しつつ、ふるさと埼玉の限りない発展と皆さまの豊かな暮らしづくりに貢献できるよう、健全な財務体質の構築とより透明性の高い経営に取り組んでまいります。今後とも、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

いつも、  
武蔵野銀行をご利用いただきまして、  
ありがとうございます。



頭取 之 輪 克 明

17年12月

# 業績ハイライト

## 業務粗利益

**資金運用収益 253億円**

事業性貸出金、住宅ローンなど銀行が受取る利息や有価証券の利息・配当金等

**資金調達費用 9億円**

普通預金、定期預金等の各種預金に銀行が支払う利息等

**役務取引等収益 49億円**

投信、国債等の販売や振込・ATMご利用等で当行が受け取る手数料等

**役務取引等費用 20億円**

他行ATMのご利用等で他行に当行が支払う手数料等

**その他業務収益 10億円**

国債等債券の売却益や償還益、外国為替売買益等

**その他業務費用 9億円**

国債等債券の売却損や償還損等

業務粗利益 273億円

① 資金運用収支 244億円

+

② 役務取引等収支 29億円

+

③ その他業務収支 0億円

## コア業務純益／業務純益

業務粗利益 273億円

**債券5勘定戻 ▲7億円**

債券関係キャピタル益

コア業務純益 108億円

**経費 172億円**

人件費・物件費・税金

業務純益 101億円

## 経常利益

業務純益 101億円

臨時収益 7億円

株式売却益等

**臨時費用 14億円**

不良債権処理損、株式売却損、株式償却等

経常利益 93億円

## 中間純利益

経常利益 93億円

特別利益 5億円

**特別損失 1億円**

法人税等 24億円

法人税等調整額 15億円

中間純利益 57億円

プロフィール

概要

業績ハイライト

当行の健全性に  
関する指標

中期経営計画  
「2025」の概要

当行が  
おこなっている

国民の皆さまに  
おこなっている

株式情報

# 業績ハイライト

## ■ 資金運用 (貸出金残高)



貸出金は、法人新規開拓やお取引先の融資シェアアップ活動に加え、住宅ローンセンターを中心とした住宅ローンの積極推進などにより、17年9月末残高は、前年比1,578億円増加し、2兆1,665億円となりました。

## ■ 有価証券残高



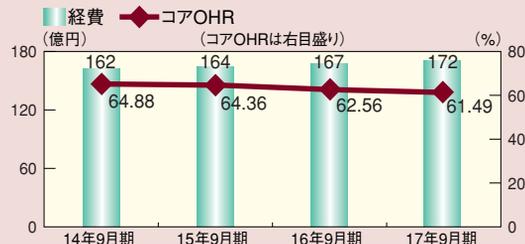
有価証券は、資金の効率的な運用のため中期国債への投資を行ったほか、株式相場の上昇により保有株式の評価額が高まったことから、17年9月末残高は、前年比269億円増加し、6,371億円となりました。

## ■ 資金調達 (預金残高)



預金は、お客さまの家計取引口座拡大のためのキャンペーン活動や営業ネットワークの充実などお客さま利便性向上に努めました結果、個人、法人預金の順調な増加により、17年9月末残高は、前年比828億円増加し、2兆8,425億円となりました。

## ■ 経費 (経費・コアOHR)



経費は、人件費、物件費ともに微増により5億円増加しました。一方で、営業の効率性を示すコアOHRは、資金運用収支等の増加から業務粗利益が前年同期比36億円増加したことなどにより1.07ポイント改善し、61.49%となりました。

## ■ コア業務純益



本業の収益力を示す当期のコア業務純益は、貸出金などから受取る利息収入と預金などに支払う利息支払との差額である資金運用収支の拡大、手数料収入などからなる役務取引等収支が増えたことなどから108億22百万円となり、4年連続して上期の最高益となりました。

## ■ 損益 (経常利益、中間純利益)



コア業務純益の増加に加え、不良債権処理のために予め積立てた一般貸倒引当金の戻入れや不良債権処理費用の減少から、経常利益は前年同期比約18億円増加し93億58百万円に、中間純利益も約15億円増加し57億69百万円となり、いずれも3年連続して上期の最高益となりました。

# 業績ハイライト

## ■中間貸借対照表

(百万円)

科目	16年9月期		17年9月期	
	金額		金額	
<b>(資産の部(注1))</b>				
現金預け金	143,725	84,422		
コールローン	120,044	52,619		
買入手形	—	30,000		
買入金銭債権	25,862	18,185		
商品有価証券	753	1,052		
金銭の信託	1,580	1,518		
有価証券	610,276	637,196		
貸出金	2,008,727	2,166,561		
外国為替	4,136	1,952		
その他資産	10,924	13,986		
動産不動産	35,451	35,420		
繰延税金資産	14,481	7,888		
支払承諾見返	27,712	26,391		
貸倒引当金	△20,786	△15,806		
<b>資産の部合計</b>	<b>2,982,890</b>	<b>3,061,389</b>		

<b>(負債の部(注2))</b>		金額	金額
預金	2,759,752	2,842,543	
譲渡性預金	8,610	1,560	
コールマネー	17,769	7,472	
借入金	27,500	27,967	
外国為替	167	132	
その他負債	16,209	14,878	
賞与引当金	1,277	1,313	
退職給付引当金	5,176	5,455	
再評価に係る繰延税金負債	5,185	5,112	
支払承諾	27,712	26,391	
<b>負債の部合計</b>	<b>2,869,361</b>	<b>2,932,828</b>	

<b>(資本の部(注3))</b>		金額	金額
資本金	36,690	36,690	
資本剰余金	29,301	29,302	
資本準備金	29,301	29,301	
その他資本剰余金	0	0	
自己株式処分差益	0	0	
利益剰余金	34,420	42,526	
利益準備金	10,082	10,082	
任意積立金	18,433	25,019	
中間未処分利益	5,904	7,424	
中間純利益	4,227	5,769	
土地再評価差額金	7,621	7,514	
株式等評価差額金	7,164	14,251	
自己株式	△1,671	△1,724	
<b>資本の部合計</b>	<b>113,528</b>	<b>128,561</b>	
<b>負債及び資本の部合計</b>	<b>2,982,890</b>	<b>3,061,389</b>	

## ■中間損益計算書

(百万円)

科目	16年9月期		17年9月期	
	金額		金額	
経常収益(注4)	30,780	32,096		
資金運用収益	24,671	25,399		
うち貸出金利息	(20,807)	(21,310)		
うち有価証券利息配当金	(3,776)	(3,983)		
役員取引等収益	4,479	4,946		
その他業務収益	1,043	1,008		
その他経常収益	585	741		
経常費用(注5)	23,261	22,737		
資金調達費用	929	967		
うち預金利息	(408)	(436)		
役員取引等費用	1,933	2,046		
その他業務費用	1,199	949		
営業経費	17,469	17,808		
その他経常費用	1,729	965		
経常利益(注6)	7,518	9,358		
特別利益	12	589		
特別損失	442	192		
税引前中間純利益	7,089	9,755		
法人税、住民税及び事業税	1,487	2,404		
法人税等調整額	1,375	1,581		
中間純利益(注7)	4,227	5,769		
前期繰越利益	1,676	1,672		
土地再評価差額金取崩額	—	△17		
中間未処分利益	5,904	7,424		

### 用語解説

注1:「資産の部」は、お客さまへの「貸出金」、国債・株式などの「有価証券」など銀行の資金運用に関すること、及び動産不動産など資産の保有状況を表しています。

注2:「負債の部」は、お客さまからお預りしている「預金」、「譲渡性預金」など主に資金の調達の状況を表しています。

注3:「資本の部」は、株主の皆さまからご出資いただいた資本金やこれまで利益などにより積上げてきた剰余金などを表しています。

注4:「経常収益」は、一般企業の売上高に相当し、貸出金利息、各種手数料などの収益を表しています。

注5:「経常費用」とは、一般企業の売上原価に相当し、預金利息や営業経費などの費用を表しています。

注6:「経常利益」とは、銀行の営業活動によって通常発生する「経常収益」から「経常費用」を差し引いたもので、毎年生じる通常の利益を表します。

注7:「中間純利益」とは、「経常利益」にその期間中に特別に発生した利益と損失(特別利益、特別損失)と税金を加減したものです。

**業績ハイライト**
**■ 中間連結貸借対照表**

(百万円)

科 目	16年9月期	17年9月期
	金 額	金 額
<b>(資産の部)</b>		
現金預け金	144,278	85,511
コールローン及び買入手形	120,044	82,619
買入金銭債権	25,862	18,185
商品有価証券	753	1,052
金銭の信託	1,580	1,518
有価証券	610,199	638,325
貸出金	1,997,699	2,155,396
外国為替	4,136	1,952
その他資産	41,893	43,351
動産不動産	36,747	36,718
繰延税金資産	17,234	10,444
支払承諾見返	27,712	26,391
貸倒引当金	△23,635	△18,501
投資損失引当金	△0	△0
<b>資産の部合計</b>	<b>3,004,508</b>	<b>3,082,965</b>

<b>(負債の部)</b>		
	金 額	金 額
預金	2,754,411	2,836,411
譲渡性預金	5,610	560
コールマネー及び売渡手形	17,769	7,472
借入金	41,468	40,788
外国為替	167	132
その他負債	29,853	26,850
賞与引当金	1,375	1,412
退職給付引当金	5,211	5,492
再評価に係る繰延税金負債	5,185	5,112
支払承諾	27,712	26,391
<b>負債の部合計</b>	<b>2,888,765</b>	<b>2,950,624</b>

<b>(少数株主持分)</b>		
少数株主持分	1,610	2,448

<b>(資本の部)</b>		
	金 額	金 額
資本金	36,690	36,690
資本剰余金	29,301	29,302
利益剰余金	35,030	43,857
土地再評価差額金	7,621	7,514
株式等評価差額金	7,164	14,251
自己株式	△1,678	△1,724
<b>資本の部合計</b>	<b>114,131</b>	<b>129,892</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本の部合計</b>	<b>3,004,508</b>	<b>3,082,965</b>

**■ 中間連結損益計算書**

(百万円)

科 目	16年9月期	17年9月期
	金 額	金 額
<b>経常収益</b>		
資金運用収益	36,399	38,142
(うち貸出金利息)	24,882	25,604
(うち有価証券利息配当金)	(21,013)	(21,510)
役員取引等収益	(3,779)	(3,986)
その他業務収益	4,902	5,436
その他経常収益	1,327	1,305
経常費用	5,287	5,796
資金調達費用	28,500	27,395
(うち預金利息)	1,085	1,048
役員取引等費用	(407)	(436)
その他業務費用	1,630	1,744
営業経費	1,199	949
その他経常費用	17,670	17,960
経常利益	6,914	5,691
特別利益	7,899	10,747
特別損失	27	342
税金等調整前中間純利益	450	192
法人税、住民税及び事業税	7,476	10,897
法人税等調整額	1,745	2,768
少数株主利益	1,224	1,611
中間純利益	131	446
	4,374	6,070

**■ 中間連結剰余金計算書**

(百万円)

科 目	16年9月期	17年9月期
	金 額	金 額
<b>(資本剰余金の部)</b>		
資本剰余金期首残高	29,301	29,301
資本剰余金増加高	0	0
資本剰余金中間期末残高	29,301	29,302
<b>(利益剰余金の部)</b>		
利益剰余金期首残高	31,473	38,629
利益剰余金増加高	4,374	6,070
利益剰余金減少高	817	842
利益剰余金中間期末残高	35,030	43,857

**■ キャッシュ・フロー計算書(要約)**

(百万円)

科 目	16年9月期	17年9月期
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△9,779	△48,635
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,552	△21,252
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,870	△795
現金及び現金同等物の増加額	△19,202	△70,683
現金及び現金同等物の期首残高	162,454	154,616
現金及び現金同等物の中間期末残高	143,251	83,932

# 当行の健全性に関する指標

## 自己資本比率



銀行の健全性、安全性を示す指標の一つ自己資本比率は、利益剰余金の増加等により自己資本が充実したことから、前年比0.16ポイント増加し9.28%となり、国内だけで営業する銀行に求められている4%を大きく上回る水準にあります。なお、当行では、17年11月、貸出金好伸による資産の増加と、将来的な資金需要の拡大に備えて自己資本の一層の充実を図るため公募増資を実施したことから、18年3月末の自己資本比率は、10%を超える見込みです。

### 用語解説

・自己資本比率…総資産(リスクの度合いに応じて調整したオン・オフバランス取引)に対する、資本金等の自己資本の割合のことで、金融機関の健全性を示しています。自己資本比率は一般的に高い方が良いと言われています。なお、当行のように海外店舗を持たない銀行においては自己資本比率は4%以上(国内基準)を確保することが必要になります。

## 不良債権比率

銀行の健全性を示す指標の一つ不良債権比率は、前年比0.73ポイント低下し3.52%となり、19年3月末の目標3%未満に向けて不良債権処理が一段と進んでいます。

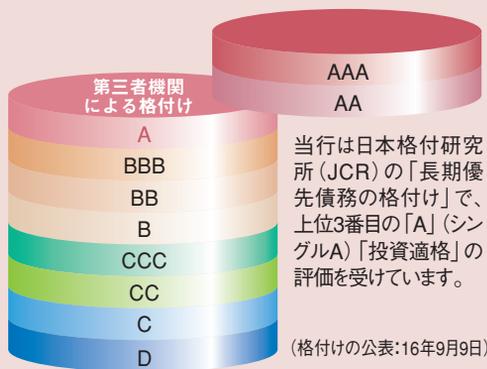


## 任意積立金等

任意積立金等は、利益処分等による積立金のことで、配当金の支払や不良債権処理などに充てることが可能で、多いほど財務の健全性が高いといえます。17年9月末の任意積立金等の残高は、前年比81億円増加し299億円となり、この3年で2.26倍に増加しました。



## 格付け



格付けは、一般に銀行の健全性・信用度を示す指標といわれています。当行は、日本格付研究所(JCR)の長期優先債務の格付けで、上位3番目の「A」(シングルA)となる投資適格の評価を取得しています。

### 用語解説

格付け 「格付け」とは利害関係の全くない第三者である格付け専門機関が、銀行の財務内容等を客観的に評価し、債務の支払能力に関する評価を簡単なアルファベットなどのわかりやすい記号で表したものです。

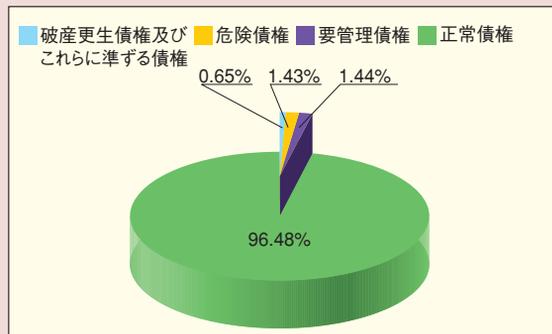
# 当行の健全性に関する指標

## 金融再生法に基づく開示債権

当行は、年2回、貸出金等の資産価値を査定する自己査定を行い、資産査定結果に基づき資産を5段階に分類し、ご返済の可能性等に応じて引当（不良債権の処理に備えて費用を貸倒引当金として積立てること）処理を実施するとともに、法律（金融再生法）に基づき資産査定結果を公表しています。

(億円)

	16年9月末	17年9月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	164	141	▲23
危険債権	411	314	▲97
要管理債権	291	317	26
小計（不良債権）	867	773	▲94
正常債権	19,514	21,175	1,661
合 計	20,381	21,948	1,567



17年9月末における資産査定結果は、破産更生債権及びこれらに準ずる債権が前年比23億円減少し、危険債権も97億円減少しましたが、要管理債権が26億円増加したため、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権、要管理債権などいわゆる不良債権残高は、前年比94億円減少し、773億円となりました。この結果、不良債権比率も3.52%と前年比0.73ポイント低下するなど、不良債権問題から完全に脱却し、資産の健全化が順調に進んでいます。

## 用語解説

### 破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の理由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

### 危険債権

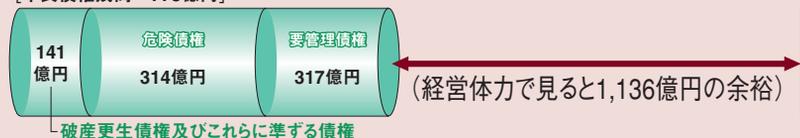
債務者が経営破綻までには至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約どおりに債権の元本及び利息の回収ができない可能性のある債権です。

### 要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く、3か月以上延滞している債権及び貸出条件を緩和している債権です。

## 不良債権への備え

[不良債権残高…773億円]



[経営体力…1,908億円]



資産査定結果に基づく、不良債権773億円に対する当行の備えとなる保全の状況では、担保・保証による保全498億円、貸倒引当金による保全125億円の624億円となり、保全率では、80.7%ですが、残りの149億円は直ちに保全が必要な債権ではありません。仮に全額追加負担となっても、当行の自己資本で処理できるだけの十分な経営体力を有しています。

# 中期経営計画「JUMP UP 21」の概要

## 経営理念

当行は、創業以来「地域共存」「顧客尊重」を永遠のテーマとして掲げ、郷土「彩の国さいたま」の地元銀行として総合金融サービスの向上に努め、地域金融機関として地域の皆さまに役立つことを企業使命に、地域経済・社会への貢献を果たし続けます。

## 目指す銀行

### 中期経営計画「JUMP UP 21」

(16年4月～19年3月)

- 収益力の一層の強化
- 財務体質の一段の向上
- 営業基盤のさらなる拡充

リバン  
機能  
強化  
計画

### 地域密着型金融推進計画

(17年4月～19年3月)

- 事業再生・中小企業金融の円滑化
- 経営力の強化
- 地域の利用者の利便性の向上

地域貢献度No.1銀行

埼玉県民のベストリテールバンク

	17年9月期実績
コア業務純益	108億円
コアROA	0.70%
ROE	9.25%
コアOHR	61.49%
自己資本比率	9.28%
不良債権比率	3.52%
貸出金平残	21,009億円
預金平残	28,141億円



	19年3月期最終計画
コア業務純益	230億円以上
コアROA	0.70%以上
ROE	8.50%以上
コアOHR	60.0%未満
自己資本比率	9.50%以上
不良債権比率	3.0%未満
貸出金平残	21,714億円以上
預金平残	29,488億円以上

## 用語解説

- ・コア業務純益…銀行本来の業務(預貸金利息や、ATM手数料収入等)から得られた利益のことで、銀行の収益力を知る為の指標のひとつです。
- ・コアROA(総資産利益率)…利益を総資産で除した、総合的な収益性の財務指標のことで、企業の収益性を判断する指標のひとつです。
- ・ROE(株主資本利益率)…前期と当期の株主資本の平均値に対する当期純利益の比率のことで、株主資本を元に1年間でどれだけ収益を上げたか、ということを示す指標です。
- ・コアOHR(Over Head Ratio)〈粗利益経費率〉…業務粗利益に対する経費の比率のことで、営業の効率性(利益をあげるためにどのくらいの経費をかけているか)を示しています。コアOHRは一般に、低い方が良いと言われています。

## 当行からのお知らせ

### コンプライアンスへの取り組み

- 当行では、コンプライアンス体制の徹底を経営の最重要課題の一つと考え、当行が社会的責任と公共的使命を果たすための企業倫理の指針として「武蔵野銀行倫理憲章」を定め、体制の整備と役職員への浸透に取り組んでいます。
- また、当行では13年4月から、役職員がお客さまへの勧誘を行う場合に遵守すべき5つの基本方針「勧誘方針」を制定し、誠実かつ適正な営業活動を行っています。

1. お客さまの知識、経験や保有資産の構成などを勘案させて戴いた上で、お望みの目的にかなうと判断される金融商品をお勧め致します。
2. 最終的にはお客さま自身のご判断でお取引を戴くため、商品内容やリスク内容など重要な事項を十分ご理解戴けるよう、説明に努めます。
3. 断定的な判断を申し上げたり、事実でない情報を提供するなど、お客さまの誤解を招くような勧誘は行いません。
4. お客さまにとって不都合な時間帯やご迷惑な場所などで勧誘を行うことは致しません。
5. これらの勧誘方針に沿った適正な勧誘を行うために、研修体制の充実や行内ルールの整備に努めます。

### 個人情報保護法への対応



武蔵野銀行は、17年3月にお客さまの個人情報を取扱う際の当行の基本姿勢や利用目的等を示した「個人情報保護宣言(プライバシーポリシー)」を制定し、個人情報の厳格な管理・運営を行っています。

詳しくは、ホームページ <http://www.musashinobank.co.jp>にてお知らせしています。

当行の個人情報に関するお問い合わせ窓口  
 お客さまサービス室  **0120-23-8634**

### 安全なお取引のために

当行では、盗難・偽造カードによる不正な払戻し等の犯罪からお客さまの預金をお守りするため、キャッシュカードの各種セキュリティ対策を講じています。また、今後も安全にお取引いただくため、18年2月からICキャッシュカードを導入し、19年3月までに全店でのカード発行可能にするるとともに、ICキャッシュカード対応ATMへの切替えを進めてまいります。

#### キャッシュカードに関するセキュリティ対策

実施時期	セキュリティ対策
17年3月23日	1口座、1日あたりのご利用限度額(現金のお引き出しとお振り込みの金額合計)を200万円に引き下げ!
17年4月12日	1口座、1日あたりのご利用限度額を最大200万円の範囲内で、10万円以上10万円単位での自由な設定を可能に!
17年6月～9月	ATM操作画面上に後方確認ミラーを設置
17年7月20日	キャッシュカードのご利用時間を9時から17時30分までに、また、ご利用場所を当行ATM(営業店内、店舗外)に限定することなどを自由にお決めいただくことが可能に!
<b>【上記以外に実施済みの主なセキュリティ対策】</b> ATM「暗証番号変更」サービス、ATM操作画面への覗き見防止用の偏光シールの装着、ATM間の仕切り版の大型化、ATMコーナーにおけるエチケットラインの明確化	<b>キャッシュカード等の紛失・盗難時のご連絡先</b> <b>【銀行営業日:月～金】</b> 6:50～ 8:40→ATM監視センター 8:40～17:00→お取引店 17:00～23:00→ATM監視センター <b>【銀行休業日:ATM休業日を除く土・日・祝日】</b> 8:50～21:00→ATM監視センター ATM監視センター ☎048-647-0441
<b>【今後のキャッシュカードセキュリティ向上策】</b> 18年2月からICキャッシュカードを発行。19年3月を目標に全店でご利用いただけるよう、順次、ICキャッシュカードやATMの切替えを実施する計画	

# 県民の皆さまとともに

## 地域貢献に関する基本的考え方

地域経済は、地域金融機関の存立基盤そのものであり、当行はこの地域への円滑な資金供給と金融サービスの提供という銀行の本来業務を通じて、地域社会の発展に貢献していくことこそが、当行の社会的使命であると考えています。こうした認識のもと、当行では自らが掲げる経営理念に従い、お客さまにご満足いただける総合金融サービスの実践に努めてまいります。また、地域の皆さまからのご理解と信頼を得られますよう、当行の様々な取り組みについて情報を開示してまいります。

※当行では「地域」について、埼玉県及び経済圏・生活圏等が重なる茨城県五霞町と位置づけています。

## 埼玉県の特性

埼玉県の人口は、一貫して増勢を維持し、現在700万人を上回る全国第5位の人口規模であります。また、経済活動の担い手である生産年齢人口（15歳～64歳）が総人口に占める割合は70.3%で、全国第1位を誇る一方で65歳以上の占める割合は全国一低いことから、全国でも最も若く活力のある県といえます。県内の産業は、化学製品、金属製品、電気機械などの製造業が多く、製造品出荷額は全国トップクラスです。さらに、卸・小売業、サービス業、住宅関連産業など生活関連産業も全国有数の規模を有するなど、多彩で成長性に富んだ産業が集積しています。事業所数は、約24万か所（16年6月現在）あり、全国第6位となっています。業種別の構成を全国平均と比べて見ると、製造業や建設業の割合が若干高いものの特定業種への偏重はありません。近年は、「医療・福祉」分野のウェイト拡大がやや目立ちますが、全体にバランスのとれた、中堅・中小企業を主体とした事業の立地となっています。

### 《埼玉県の主な経済指標等》

	埼玉県	全国シェア	全国順位	調査時点又は期間
総面積	3,797km <sup>2</sup>	1.0%	39位	平成14年10月1日
人口	705万人	5.5%	5位	平成16年10月1日
事業所数(民間)	238,650事業所	4.2%	6位	平成16年6月1日
県内総生産(名目)	19兆9,438億円	4.0%	5位	平成14年度
製造品出荷額(速報)	13兆4,966億円	4.7%	5位	平成16年12月31日
大型小売店販売額	1兆626億円	4.9%	5位	平成15年
乗用車新車登録台数	196,377台	5.8%	5位	平成16年
新設住宅着工戸数	73,376戸	6.2%	4位	平成16年度

ぶざん地域経済研究所調べ。乗用車新車登録台数は、軽自動車を除く。

### 《埼玉県の主な品目別(食品)製造品出荷額(平成15年)》

	製造品出荷額		全国シェア	全国順位
	埼玉県	全国		
アイスクリーム	369億円	2,221億円	16.6%	1位
洋生菓子	696億円	6,384億円	10.9%	1位
中華めん	236億円	1,904億円	12.4%	1位
そう(惣)菜	688億円	7,193億円	9.6%	1位
香辛料(練製のものを含む)	320百万円	1,208百万円	26.5%	1位
精米(砕精米を含む)	791百万円	7,609百万円	10.4%	1位
和風めん	276百万円	3,677百万円	7.5%	1位

(資料) 経済産業省「工業統計表(品目編)」からぶざん地域経済研究所調べ。単位未満は四捨五入で表示しています。

# 県民の皆さまとともに

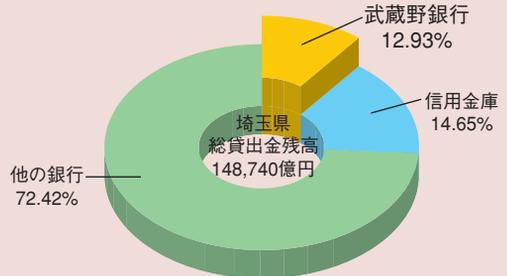
## 地域向け貸出金

### 〈地域向け貸出金の状況〉

地域向け貸出金は、住宅ローンセンターの営業力強化と金利優遇キャンペーンによる効果から住宅ローンを中心とする個人ローンが大幅な増加をしたことに加え、新規事業所開拓活動や事業金融への取り組み強化などから中小企業向け貸出金が着実に増加しました。この結果、17年9月末の地域向け貸出金残高は、前年比1,382億円増加し、1兆9,520億円となりましたが、地域向け貸出金比率はほぼ横ばいで推移しました。



### 〈県内貸出金シェア〉



### 〈貸出金シェアの推移〉



地域向け貸出金が大幅に増加したことに伴い、17年8月末の埼玉県内の貸出金シェアは、前年比0.36ポイント増加し、12.93%となりました。

出所：埼玉県主要経済指標（関東財務局）をもとに当行で作成。銀行は全店舗計（属地主義）、信用金庫は本店所在地ベース

## 業種別貸出金の内訳

### 〈地域向け貸出先数〉

- 個人 85,083先
- 製造業 5,193先
- 卸・小売業 4,523先
- 建設業 4,325先
- 各種サービス業 4,185先
- 不動産業 1,172先
- その他 1,496先

### 〈地域向け貸出先残高〉

- 個人 8,421億円
- 製造業 2,401億円
- 卸・小売業 2,135億円
- 各種サービス業 2,037億円
- 不動産業 1,703億円
- 建設業 1,429億円
- その他 1,391億円

(17年9月30日現在)  
(先・百万円)

業種	貸出先数		貸出金残高	
	うち地域向け	うち地域向け	うち地域向け	うち地域向け
製造業	5,258	5,193	270,191	240,134
農業	151	151	4,141	4,141
林業	2	2	126	126
漁業	2	2	9	9
鉱業	15	12	4,744	919
建設業	4,336	4,325	149,306	142,940
電気・ガス・熱供給・水道業	115	113	9,560	6,063
情報通信業	191	189	5,569	5,288
運輸業	957	944	74,864	68,496
卸・小売業	4,561	4,523	229,358	213,577
金融・保険業	75	51	116,912	6,501
不動産業	1,192	1,172	187,769	170,354
各種サービス業	4,214	4,185	221,188	203,735
地方公共団体	32	32	47,590	47,590
個人	85,318	85,083	845,234	842,172
合計	106,419	105,977	2,166,561	1,952,045

業種別でみた当行の地域向け貸出金は、貸出先数では個人が8割強を占めますが、残高では4割強に止まり、製造業を含む5業種が1割前後の残高を維持するなど、特定業種への偏重もなく、バランス良く分散されています。

# 県民の皆さまとともに

## 中小企業等に対する貸出金



17年9月末の中小企業等に対する貸出金は、前年比1,380億円増加し1兆8,214億円となり、中小企業等貸出金比率も0.27ポイント増加し84.07%となりました。

## 埼玉県信用保証協会保証債務残高



埼玉県信用保証協会保証債務残高は、中小企業向けスコアリング融資商品の取扱い拡大などから、前年比46億円増加し2千589億円となり、当行シェアは20.6%でほぼ横ばいの状況にあります。

## 中小企業の皆さまに幅広くご利用されているスコアリング融資商品



スピード審査、無担保かつ第三者保証不要のスコアリング融資商品の品揃えの充実に努め、広く中小企業の皆さまにご利用いただきました結果、17年9月末の残高は前年比262億円増加の1,865億円となりました。

## 順調に増加する個人ローン



住宅ローンセンター、住宅ローン相談会の充実に加え、エコハウスローン等の付加価値の高い商品の開発に努めた結果、個人ローンの17年9月末残高は前年比1,046億円増加の7,948億円となりました。

県民の皆さまとともに

中堅・中小企業の皆さま向け融資商品

むさしの「ポプラ」(オリックス株式会社保証付)



- 商品の特長**
- ・スコアリングシステムを利用したスピード審査
  - ・農林漁業等を営まれる方、個人事業主、当行とお取引のないお客さまも利用可能
  - ・無担保、第三者保証人不要
- ご融資対象先**  
業歴2年・2期以上の決算・確定申告をされているお客さま
- ご融資期間**  
5年以内
- ご融資金額**  
法人…3,000万円以内  
個人事業主…1,000万円以内  
(100万円以上10万円単位)
- 担保・保証人**  
担保:不要  
保証人:法人…代表者  
個人事業主…不要  
保証会社:オリックス株式会社

むさしの「企業力」



- 商品の特長**
- ・スコアリングシステムを利用したスピード審査
  - ・保証料不要
- ※日本税理士会連合会制定の「中小会社会計基準適用に関するチェックリスト」をご提出いただいた場合、0.2%金利を優遇
- ご融資対象先**  
当行とのお取引が6か月以上継続しており、業歴2年・2期以上の決算をされているお客さま
- ご融資期間**  
1年超5年以内
- ご融資金額**  
5,000万円以内  
(500万円以上100万円単位)
- 担保・保証人**  
担保:不要  
保証人:代表者

個人の皆さま向けローン商品

むさしの「エコハウス住宅ローン」



- ・「太陽光発電システム」「オール電化」「ガスコージェネレーション」「潜熱回収型給湯器」を備えた住宅の購入、新築、増改築、建替まで、マイホーム作りのお手伝いをさせていただきます。
  - ・お借入期間を通して金利を優遇します。
- ※医師により「がん」と診断された場合にお借入残高の100%相当額が診断給付金にて充当される「がん保障特約付き団体信用生命保険」を付保することができます。

むさしの「奨学ローン」 むさしの「マイカーローン」



むさしの「奨学ローン」

- 金利優遇キャンペーン実施中(～18年4月28日(金)まで)
- ・留学費用や寄付金などの幅広いニーズをサポートします。
  - ・お借入中の教育ローンのお借換えにもご利用いただけます。

むさしの「マイカーローン」

- 金利優遇キャンペーン実施中(～18年3月31日(金)まで)
- ・お車の購入費用のほか、車検や修理費用、他行・他社からの借換えなどにもご利用いただけます。
  - ・ご利用期間中にお車の故障などのトラブルが発生した場合には、「ロードサービス」を無料でご利用いただけます。

カードローン「むさしのモビット」

- ・お申込み・お問い合わせは365日24時間お気軽に ☎0120-24-8634へ
- ・日本全国の提携金融機関のATM・CDからお引出しいただけます。
- ・毎月1万円からのご返済、200万円までスピード審査。



# 県民の皆さまとともに

## 企業育成のための支援活動に取り組んでいます！

武蔵野銀行では、投資・融資や公的施策の活用に関するご提案、株式公開に向けたコンサルティング、特許ビジネスに関する専門機関への仲介など、当行の持つ幅広いネットワークを活用しながら、各種サポート事業に取り組み、地元企業の皆さまや個人事業主の皆さまからの様々なニーズにお応えしています。ご相談は、法人部ニュービジネス推進室、ぶぎんキャピタル、お取引のある営業店または最寄の営業店にてお待ちしております。お客さまの経営課題が解決するまでご相談に応じてまいりますので、安心してお任せください。

### 幅広いネットワークを活用します！



### 適切、タイムリーなサポートを実施しています！

#### 公的融資制度

埼玉県制度融資や政府系金融機関の紹介により、お客さまの資金調達を支援します。

#### 私 募 債

(特定社債保証私募債・銀行保証付私募債)

一定の財務基準を満たすお客さまの直接金融による資金調達を支援します。

#### ベンチャー・第二創業

優れた技術や新しいサービスをベースに事業化を目指すお客さまを支援します。

#### 産 学 連 携

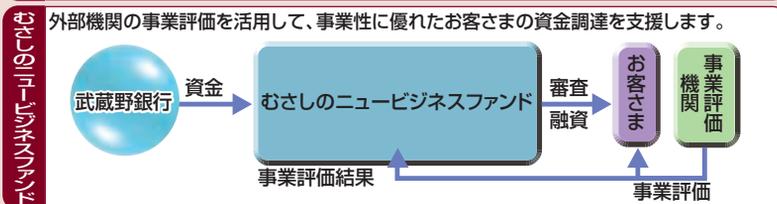
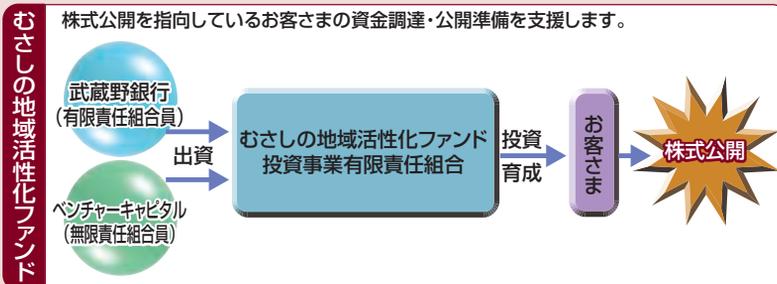
埼玉県内をはじめとする大学とのマッチングにより、お客さまの研究開発を支援します。

#### 株 式 公 開

株式公開をステップにさらなる成長を目指すお客さまの公開準備を支援します。

## 投資・融資でお応えします！

成長が見込まれるベンチャー企業や起業を資金面から応援する「むさしの地域活性化ファンド」、「むさしのニュービジネスファンド」は、15年12月の取扱開始から15件405百万円の実績となりました。



# 県民の皆さまとともに

## 産学官連携を支援します!



当行では、金融機関ならではの幅広いネットワークを活用し、“産”（企業）、“学”（大学など）、“官”（公的機関）の連携を支援しています。お客様の技術相談や共同研究といったニーズに積極的に応えることで、埼玉県内の産業振興と地域活性化への貢献活動を推進しています。



産学連携での提携先である東洋大学

## 経営支援、事業再生支援のための活動に取り組んでいます!

### 企業経営支援室の活動

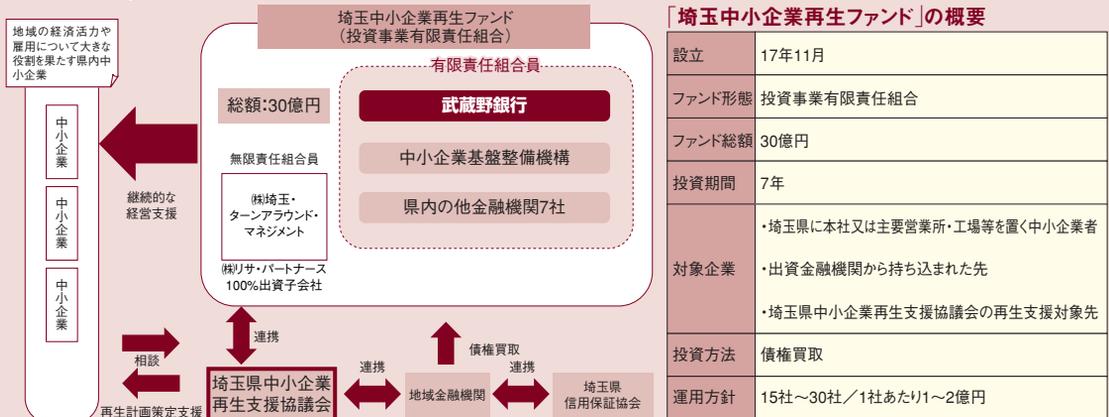
企業経営支援室は、取引先企業の経営改善、財務改善のお手伝いをするため、フェイスツーフェイスでのコンサルティング活動を進めています。活動にあたっては、お客様の今後の事業や財務の計画等を十分にお聞きしたうえで、経営計画策定支援システムにより、企業診断書や中長期・月次の経営計画書を策定し具体的な提案や必要なアドバイスを行うとともに、お客さまと一緒に考え、改善策を見出すよう努めています。これまでに経営計画策定支援システムによりご提案させていただいた件数は、1,420件となったほか、債務者区分（貸出取引先の債権の返済可能性に応じて5段階にランク付け）がランクアップしたお取引先も、17年度上期は75社の実績となりました。

	15、16年度実績	17年度上期実績	17年度年間目標	17、18年度計画
ランクアップ先数	328先	75先	150先	300先

※ランクアップ先数とは、貸出先を返済可能性等に応じて正常先、要注意先、破綻懸念先、実質破綻先、破綻先の5段階に区分し、事業再生等により上位ランクへ引き上げた貸出先の数です。

### 埼玉中小企業再生ファンドの創設について

当行は、埼玉県中小企業再生支援協議会、中小企業基盤整備機構、県内他金融機関等と連携し、県内の中小企業の皆さまの企業再生のご支援を行うため、「埼玉中小企業再生ファンド」を組成いたしました。県民の銀行として企業再生の貢献期待に応えてまいります。

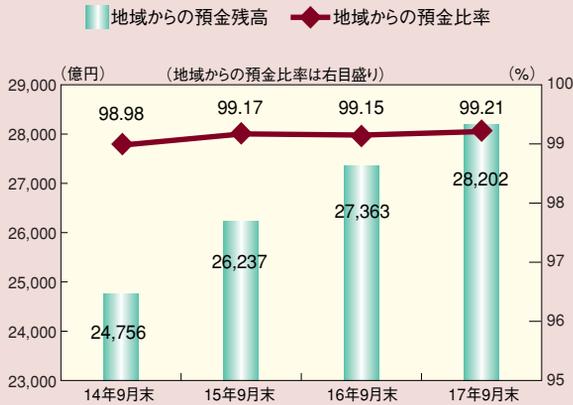


### 「埼玉中小企業再生ファンド」の概要

設立	17年11月
ファンド形態	投資事業有限責任組合
ファンド総額	30億円
投資期間	7年
対象企業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埼玉県に本社又は主要営業所・工場等を置く中小企業者</li> <li>・出資金融機関から持ち込まれた先</li> <li>・埼玉県中小企業再生支援協議会の再生支援対象先</li> </ul>
投資方法	債権買取
運用方針	15社～30社／1社あたり1～2億円

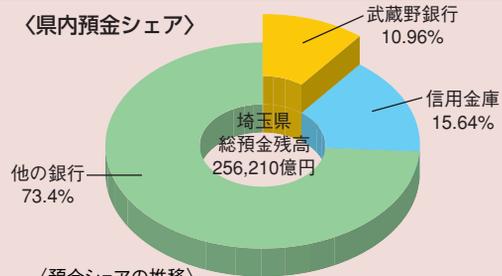
# 県民の皆さまとともに

## 地域からの預金



地域からの預金は、店舗ネットワークの充実に加え、年金相談会やキャンペーン活動、ポイントサービスの効果などから、給与振込、年金受取など家計のメイン口座としてご利用機会が増加したことに伴い、着実に増加基調にあります。この結果、17年9月末の地域からの預金残高は、前年比839億円増加し2兆8,202億円となり、地域からの預金比率も0.06ポイント拡大しました。

## 〈県内預金シェア〉



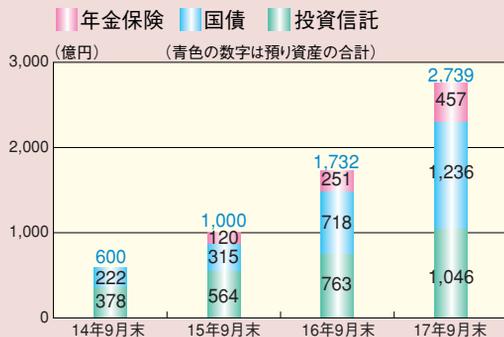
## 〈預金シェアの推移〉



地域からの預金が着実に増加したことに伴い、17年8月末の埼玉県内の預金シェアは、前年比0.24ポイント増加し、10.96%となりました。

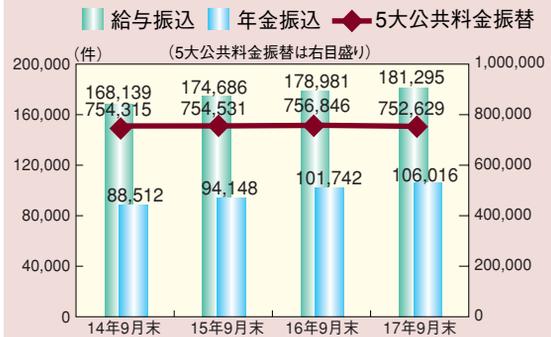
出所：埼玉県主要経済指標（関東財務局）をもとに当行で作成。  
銀行は全店舗計（属地主義）、信用金庫は本店所在地ベース

## 地域からの預り資産



投資信託、国債、年金保険などいわゆる預り資産は各商品の豊富な品揃えに加え、各営業店のFAテラー、エリアFPが地域の皆さまの資産運用ニーズに的確にお応えすることにより、着実に増加しています。17年9月末における地域の皆さまからの預り資産残高は2千739億円となり、当行の総預り資産残高2千742億円の99.8%を占めています。

## お客さまの家計取引



給与振込や年金の受取口座として多くの皆さまからご利用いただくとともに、公共料金のお振替口座としてもご利用いただいています。17年9月末における給与振込口座、年金のお受取口座ともに増加しましたほか、公共料金のお振替も75万件を超える水準を維持しています。

## お知らせ

本ページに掲載されている「投資信託・個人年金保険の商品一覧」及び「証券仲介」業務と取扱店は、平成19年9月30日施行の「金融商品取引法」による広告等の規制に抵触するおそれがあることから削除させていただきました。

各商品・サービスについてのお問い合わせにつきましては、最寄りの営業店までご連絡をお願いします。

# 県民の皆さまとともに

## 住宅ローンセンター

住宅融資に関することなら何でもご相談に応じています。豊富な専門知識を有する行員が懇切・丁寧に应对いたしますので、是非、最寄りのセンターまでお出かけください。

- **大宮住宅ローンセンター**  
大宮支店2階  
☎048-645-7720
- **南越谷住宅ローンセンター**  
JR武蔵野線南越谷駅そば  
☎048-985-6917
- **大宮西口住宅ローンセンター**  
桜木町ビル3階  
☎048-641-6155
- **久喜住宅ローンセンター**  
久喜支店2階  
☎0480-21-6181
- **南浦和住宅ローンセンター**  
南浦和支店2階  
☎048-838-7533
- **朝霞住宅ローンセンター**  
JR武蔵野線北朝霞駅前  
☎048-487-2614
- **川口住宅ローンセンター**  
JR京浜東北線川口駅そば  
☎048-258-1533
- **所沢住宅ローンセンター**  
新所沢支店2階  
☎04-2998-6441
- **川越住宅ローンセンター**  
川越南支店2階  
☎049-248-2391
- **熊谷東住宅ローンセンター**  
熊谷東支店2階  
☎048-527-6091

ローンのお問い合わせは

**0120-30-6340** (平日9:00~17:00)

## ビジネスローンセンター

ダイレクトメールやテレマーケティングによる各種融資商品のご案内を行っています。また、県内の中堅・中小企業の皆さまから、当行の融資商品に関するご相談を承っています。お気軽にご利用ください。

**0120-22-6340** (平日9:00~17:00)

## 「太田オフィス」太田エリアの法人営業事務所

「太田オフィス」では群馬県太田市を中心とするエリアの法人のお客さまからのご融資のご相談・お取次ぎを承っています。

- **太田オフィス**  
東武伊勢崎線太田駅南口より徒歩4分、国道407号線沿い  
**☎0276-47-1211**

## FP営業推進室

専門知識を有する資産運用アドバイザーが、19か店に常駐しており、またその他の営業店におきましても、原則として毎月2回巡回し、お客さまの資産運用などのご相談にきめ細かく対応しています。詳しいご相談をご希望されるお客さまは、お取引のある営業店に事前にご確認の上、ご来店またはご訪問の指定をしてください。  
お電話でのご相談は、以下のフリーダイヤルで承っています。

**0120-6342-14** (平日9:00~17:00)

## 各種連絡先窓口

通帳・印鑑・キャッシュカードの紛失・盗難

平日	6:50~ 8:40	☎048-647-0441 ATM監視センター
	8:40~17:00	各お取引店
	17:00~23:00	☎048-647-0441 ATM監視センター
土日祝	8:50~21:00	☎048-647-0441 ATM監視センター

個人のお客さま

インターネットバンキング・各種預金・ポイントサービス	☎0120-18-6340 ダイレクトバンキングセンター
各種ローン	☎0120-30-6340 メールオーダー係
外貨預金	☎0120-634-016 市場金融部
個人年金・証券仲介・国債	☎048-641-6111(代) FP営業推進室
投資信託	☎0120-6342-14 投信フリーダイヤル

法人のお客さま

インターネットバンキング	☎0120-18-6340 ダイレクトバンキングセンター
融資商品	☎0120-22-6340 法人部
創業・新事業サポート	☎048-641-6111(代) ニュービジネス推進室
ぶざんビジネス情報サイト	☎0120-22-6340 法人部
ぶざん経営者クラブ	☎048-647-8484 ぶざん地域経済研究所
EBサービス	☎048-648-5965 EBサービス相談室
確定拠出年金	☎048-641-6111(代) ニュービジネス推進室

株主・投資家の皆さま

IR情報	☎048-641-6111(代) IRグループ
------	----------------------------

採用情報

新卒・中途・フルタイム・パートタイム	☎048-641-6111(代) 人事部
--------------------	-------------------------

# 県民の皆さまとともに

便利にご利用いただくために

## ATM・コンビニATMの利用時間帯、手数料

### ■当行ATM・CDをご利用の場合

#### ■武蔵野銀行のキャッシュカードをご利用の場合

「お引出し」「お振込み」のお取引の都度、1件あたり以下の「ご利用手数料」が必要となります（無料時間帯を除きます）。「お預入れ」「残高照会」「暗証番号変更」等は無料をご利用いただけます。  
また、「お振込み」の場合には、別途「振込手数料」が必要となります。

	7:00	8:00	8:45	9:00	14:00	15:00	17:00	18:00	19:00	21:00
平日	105円		無料			105円				
土曜	105円		無料			105円				
日曜・祝日	105円									

#### ■提携金融機関（郵便局を含む）のキャッシュカードをご利用の場合

	7:00	8:00	8:45	9:00	14:00	15:00	17:00	18:00	19:00	21:00
平日	210円		105円			210円				
土曜	105円		210円			210円				
日曜・祝日	210円									

### ■コンビニATM（イーネット、セブン銀行）をご利用の場合

	7:00	8:00	8:45	9:00	14:00	15:00	18:00	21:00	23:00	
平日	お預入れ 105円									
	210円		105円			210円				
	210円		105円			210円				

	7:00	8:00	8:45	9:00	14:00	15:00	18:00	21:00	23:00	
土曜	お預入れ 105円									
	105円		210円			210円				
	105円		210円			210円				

	7:00	8:00	8:45	9:00	14:00	15:00	18:00	21:00	23:00	
日曜・祝日	お預入れ 105円									
	お引出し 210円									
	お振込み 210円									

※お振込みは、イーネットのみでお取扱しています。

お振込み 手数料	現金	3万円未満		3万円以上		
		他行宛	420円	630円		
		当行本支店 当行同一店	105円 105円	315円 315円		

カード	3万円未満		3万円以上		
	他行宛	210円	420円		
	当行本支店 当行同一店	105円 105円	210円 210円		

（消費税を含んでいます）

## インターネットバンキング

インターネット・携帯電話により各種サービスをご利用いただけます。

### ■主なサービス内容・ご利用時間

パソコン（法人向け）

基本サービス	サービス内容	ご利用時間
	残高照会・入出金明細	[月～金] 7:00～21:00 [土日祝] 9:00～21:00
	お振替	リアルタイム [月～金] 8:00～17:00 [土日祝] お取扱できません
		予約 0:00～24:00
お振込み	リアルタイム [月～金] 8:00～15:00 [土日祝] お取扱できません	
	予約 0:00～24:00	
	メッセージ通知	0:00～24:00

オプションサービス	サービス内容	ご利用時間	データ受付時限
	総合振込	0:00～24:00	振込指定日の2営業日前17:00まで
	給与振込		振込指定日の3営業日前17:00まで
地方税納付	振込指定日の4営業日前17:00まで		

※月～土曜日の4:00～5:00と日曜日の2:00～6:00は、メンテナンス作業のためご利用いただけません。

・利用手数料 契約料金 5,250円  
月間基本料金 基本サービス料 1口座につき1,050円、  
基本サービス+オプションサービス2,625円

お振込み 手数料	3万円未満		3万円以上		給与振込	
	他行宛	315円	525円	105円		
	当行本支店 当行同一店	105円 無料	210円 無料	無料	無料	無料

パソコン（個人向け）・iモード

サービス内容	ご利用時間	お取引方法
残高照会・入出金照会	0:00～24:00	パソコン・iモード
お振替	リアルタイム [月～金] 9:00～17:00 [土日祝] お取扱できません	パソコン・iモード
	予約 0:00～24:00	
お振込み	リアルタイム [月～金] 9:00～15:00 [土日祝] お取扱できません	パソコン・iモード
	予約 0:00～24:00	
定期預金	リアルタイム [月～金] 9:00～17:00 [土日祝] お取扱できません	パソコン
	予約 [月～金] 17:00～翌9:00 [土日祝] 0:00～24:00	
各種料金の払込み	[月～金] 9:00～17:00 [土日祝] お取扱できません	パソコン・iモード
住所変更	0:00～24:00	パソコン
公共料金の払込み	0:00～24:00	パソコン
資料請求	0:00～24:00	パソコン

※月～土曜日の朝4:00～5:00及び日曜日の朝2:00～6:00はメンテナンス作業のためご利用いただけません。

・利用手数料 利用手数料無料でお使いいただけます。

お振込み 手数料	3万円未満		3万円以上		
	他行宛	210円	367円		
	当行本支店 当行同一店	105円 無料	210円 無料		

（消費税を含んでいます）

## 県民の皆さまとともに

### 地方公共団体への積極的な協力

指定金融機関、指定代理金融機関等として、税金等の納付・還付などの出納事務を通じ、広く県民の皆さまにご利用いただいています。また、地方債1,145億円（債権方式、証書貸付方式合算／17年9月末）の引受を通じて、学校・病院・公園の整備、工業団地・住宅団地の造成など、社会資本の整備事業に積極的に協力しています。



〔PFI事業としては全国初の畜場施設となる越谷市畜場〕

### 埼玉県内最大の展示商談会を開催

18年2月9日（木）、10日（金）にさいたまスーパーアリーナで開催される「彩の国ビジネスアリーナ2006」に、当行は主催者として、参加企業の取次、当行ブースの出展、運営などを行います。埼玉県の企業を中心とした県内最大規模のビジネス交流会・商談会ですので皆さまのご来場をお待ちしています。



〔前回（2004）出展の当行ブースの様様〕

### 地域社会との積極的な交流

東松山市を中心とする比企丘陵一帯にて毎年11月に開催される、世界のウォーカーの祭典「日本スリーデーマーチ」に毎年協賛・参加し、今年で14回目となりました。地域の皆さまをはじめ、国内各地、海外の皆さまとも積極的に交流しています。



〔東松山支店の前をパレードする150名の役職員〕

### 公益信託「むさしの緑の基金」で環境保全に協力

緑豊かな自然を次代に引き継ぐことができると願い、県内における自然環境保全及び創出に資する活動を行う個人・法人団体の皆さまに、ご活動資金の助成を毎年行っています。



〔17年度助成先の鴻巣市立鴻巣南小学校のホタル小屋〕

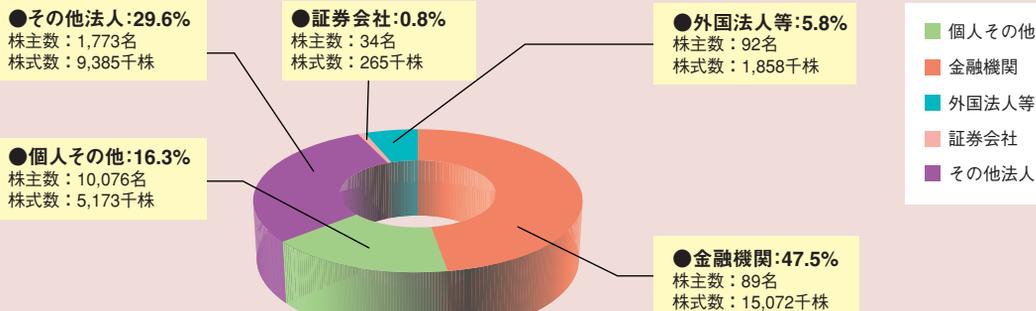
# 株式情報

## 株式の総数等

(17年9月30日現在)

●発行する株式の総数…80,000千株 ●発行済株式の総数…31,755千株 ●株主数…12,064名

## 株主構成



## 大株主の状況

株主名	(千株・%)	
	所有株式数	持株比率
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,137	6.73
2 株式会社東京三菱銀行	1,068	3.36
3 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	888	2.79
4 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	761	2.39
5 武蔵野銀行従業員持株会	755	2.37
6 株式会社UFJ銀行	750	2.36
7 明治安田生命保険相互会社	735	2.31
8 株式会社損害保険ジャパン	723	2.27
9 株式会社新生銀行	690	2.17
10 株式会社みずほコーポレート銀行	533	1.67

### 日本トラスティ・サービス信託銀行

住友信託銀行、りそな銀行、三井トラスト・ホールディングスの3社が出資する資産管理会社(信託銀行)で、投資信託や年金信託等の投資株式の受託業務を行っています。

### 日本マスタートラスト信託銀行

三菱UFJ信託銀行、日本生命保険、明治安田生命保険、農中信託銀行の4社が出資する資産管理会社で、投資信託や年金信託等の投資株式の受託業務を行っています。

## 株式のご案内

- 1. 名義書換代理人、連絡先及び取次所**  
 名義書換代理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社  
 同連絡先 〒137-8081  
 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 ☎0120-232-711  
 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 2. 公告の方法**  
 さいたま市において発行する埼玉新聞及び東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
- 3. 決算日** 毎年3月31日に決算を行います。
- 4. 定時株主総会** 毎年6月に開催いたします。
- 5. 配当金**
  - 利益配当金  
毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主若しくは信託受託者、登録質権者にお支払いします。
  - 中間配当金  
取締役会の決議により、9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主若しくは信託受託者、登録質権者に対し、お支払いします。
  - 配当金のお受取り  
配当金のお受取りに当行本支店の預金口座振込みをご指定いただきますと、早くお受取りになります。

